



こんにちは

学校ホームページ <http://www.hakodate-mou.hokkaido-c.ed.jp/>



ホームページ
QRコード

今年度の取り組みについて

北海道函館盲学校事務長 加藤秀昭

日頃より本校の教育活動にご協力をいただき感謝申し上げます。

今回は、今年度の本校の取組の一部をご紹介します。

<創立130周年記念式典を実施しました>

本校および函館聾学校は、その前身である函館訓盲会が明治28年に市内青柳町で開設されて以来、今年度で創立130周年を迎えました。

「北海道函館盲学校・北海道函館聾学校創立130周年記念事業協賛会」のご支援のもと、令和7年10月25日(土)に函館聾学校を会場として、両校合同で記念式典を実施いたしました。

当日は、両校の児童・生徒、教職員、同窓生をはじめ、200名を超える関係者の皆様にご参加いただき、これまで両校を応援してくださった皆様へ感謝の意を表すとともに、創立130周年を皆様とともに祝うことができました。

式典では、小学部4年の児童が本校代表として「よろこびの言葉」を発表し、大きな拍手に包まれました。

本記念事業を通して、多くの皆様に支えていただいた歴史の重みを改めて実感したところです。節目を新たな出発点とし、今後もより良い教育活動の充実に努めてまいります。

引き続き、温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

<函館市指定文化財に指定されました>

本校が所有・展示している社寺模型が、令和7年7月23日付で函館市指定文化財(有形文化財〔歴史資料〕)に指定されましたので紹介いたします。

(写真左:神社模型、写真右:寺院模型)



これらは、昭和12年(1937年)に来函したヘレン・ケラーが、本校の前身である函館盲唖院を訪問した際、実際に手で触れた木製模型です。

函館の特別支援教育における歴史的な教具として、学術的にも貴重な資料であると高く評価され、このたび文化財指定を受けるに至りました。

本校にとって大変意義深い文化財指定であり、これまでの教育の歩みを改めて振り返る機会ともなりました。お立ち寄りの際には是非ご覧下さい。

文体連を終えて

9月11日（木）～12日（金）に、第57回北海道盲学校文化体育活動発表大会（通称：文体連）旭川大会が開催されました。本校からは、中学部1年生1名と小学部6年生1名の計2名が参加しました。例年は札幌で行われていますが、今年度の会場は旭川。JRを乗り継いでの長時間の移動でしたが、2人とも無事に行き帰りをすることができました。

11日の交歓会では、本校が創立130周年を迎えることや、オリジナルキャラクター「はこモー」について紹介しました。また、運動会で披露した「エール」も発表し、会場全体の手拍子に包まれて大いに盛り上がりました。

12日の体育活動は、花咲スポーツ公園陸上競技場で実施されました。学校のグラウンドとは異なる本格的な施設で、2人とも練習と同じように全力を尽くし、見事入賞や大会記録を達成することができました。

1泊2日の慌ただしい日程ではありましたが、達成感とともに、楽しい思い出がたくさん詰まった大会となりました。

（文体連推進委員 土屋）



交歓会の様子



競技「ソフトボール投げ」「100m走」の様子

道視研旭川大会報告

11月13日（木）～14日（金）の2日間、北海道視覚障害教育研究大会が旭川盲学校にて開催され、本校からは4名の教職員が会場で、その他の教職員全員がオンラインで参加しました。1日目には公開授業と各部会・分科会、2日目には部会・分科会と並行して教科等サークル研修が実施されました。そして、2日目の午後には医療法人風のすずらん会美唄すずらんクリニック副院長の福場将太様による講演が行われました。講演では、当事者としての視点をもちつつ、子ども達の支援に役立つ話題を提供していただきました。他の本校教職員もオンラインで参加し、道内の盲・視覚支援学校4校がつながり、充実した大会となりました。

（小学部 卷口）



本校教職員がオンラインで参加している様子

創立130周年記念学習発表会

10月25日（土）、「つないだ130ねん！ ちからをあわせて かがやくみらいへ」をテーマに、130周年記念学習発表会が行われました。小学部演目でのバースデーケーキを作り上げていく場面、中学部演目でのお祝いのメッセージが入ったくす玉など、どの発表にも“130周年おめでとう”的意が込められていました。

また、発表会の中では、鶴見大学の元木教授より本校の校舎模型をご寄贈いただく場面もあり、本校の歴史を大切に受け継いでいくきっかけとなりました。

午後から聾学校で行われた合同記念式典にも参加し、節目の年を心に刻む特別な一日となりました。
(生徒指導部 成田)



小学部発表の様子
「みんなでお祝いしよう」
～おめでとう！130周年～



校舎模型贈呈式の
様子



中学部発表の様子
「わ」～和で広がる中学部の輪

創立130周年記念品紹介

創立130周年記念品として、児童生徒へ「記念誌」と「マスコットキャラクターのラバーマスコット」が配されました。

記念誌には、本校の児童生徒の様子や、130年のあゆみ（特に過去10年分は、当時の写真も）についてなど、聾学校の様子と共に掲載されています。本校卒業生でもあり、現在本校で勤務している池田サラジェーン教諭から寄せていた「私の母校」の寄稿文も掲載しています。

ラバーマスコットは、卒業生がデザインした「はこモー」のキャラクターのもので、キーholder型のとてもかわいいデザインになっています。早速、通学用のカバンに付けてきている児童もいます。

☆記念誌を読んでみたい方は、普通文字はもちろんテキストや点字のデータがありますので、学校（0138-42-3220）までお問い合わせください。
(専門支援部 青山)



記念誌



ラバーマスコット

小学部4組 の紹介



キーボード入力をしている様子

小学部4組は、6年生1名の学級です。元気いっぱいで、たくさん遊んでいつも賑やかに過ごしています。2学期は多くの行事がありましたが、文体連や学習発表会では緊張しながら多くの人の前で練習をして頑張った成果を発表することができました。

自立活動では、点字の読みとキーボード入力の練習をしています。どちらも1学期から継続して取り組み続けています。キーボード入力では一つ一つのキーに点字シールが貼ってあり、指先で探して入力しています。今ではほしいぶんと慣れ、大好きな列車の駅名やしりとりをしながら入力することができています。

(小学部4組担任 宮内)

中学部2組 の紹介



校外学習で公園を散策している様子

中学部2組は1年生1名、3年生1名の学級です。教室ではクラスメイトの行動をじーっと見つめていたり、時折名前を呼んだりと、お互いのことを意識している様子が見られます。

学級のスローガンは「がっこうは たのしく」です。3学期も「学校は楽しい」という思いをもって登校し、元気に学校生活を送ってほしいと思います。

(中学部2組担任 札内)

3学期のおもな行事予定

- 1月20日 3学期始業式
- 2月3日 メグミルク食育出前授業
- 2月5日 授業参観日
ざいだん出前コンサート
- 2月10日 小学部 冬の遠足
- 2月27日 小学部 読み聞かせ会
- 3月19日 卒業式
- 3月24日 修了式

本校の児童生徒は明日から冬休みに入ります。児童生徒のみなさんは病気や怪我に気を付け、楽しい冬休みを過ごしてください。3学期始業式に元気に会えるのを楽しみにしています。



心の教育推進キャンペーン